



せんしょう苑 望洋荘 便り

第112号
平成25年
3月発行

その時、何を学んだか

—東日本大震災から二年目を迎えて—

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 混

私たちの生活を一変させた東日本大震災から、早くも二年が経過しました。例年のように、春の陽光がまぶしく感じられる季節になってきました。晴れ渡る空と光る海を背景に、塩屋崎灯台の白い姿は、今までと変わることなく、ここ緑の森にたたく望洋荘から見渡すことが出来ませんが、周囲の風景は随分と変わり果ててしまいました。

一九世紀にイギリスで活躍した劇作家のジョージ・バーナード・ショーは「人間が賢いかどうかは、経験の量によるものではない。その経験をいかに活かすかによるのだ」という言葉を遺しています。職場や生活の場で「様々な経験をしているのに、まったく能力が向上しない」という人もいます。一方では、「同様な経験を積みながら、日々着実に向上している」という人もいます。こうした能力の向上の差は、「普段から『経験』をどのよう

二年前のあの震災は私たちに大変な経験と大きな教訓を与えてくれました。当時の望洋荘での職員の対応は、津波の襲来から逃れて避難してきた多くの方々の支援活動。それらは、「望洋荘便り」の八八、八九、九〇号に掲載されています。特集として東日本大震災『その時、私は……』に多くの職員の手記をも編集しました。平成二十三年三月十一日の本震、続いて四月十一日の大余震は多くの人を恐怖のどん底に落とし込むほどの大震災でした。実際に遭遇したからの貴重な経験といえるでしょう。震災、津波、火災、原発事故による放射能の拡散、それに伴う風評被害。望洋荘でも、停電、水道断水、ガス供給断、食糧不足、等々が一週間続き、まさに陸の孤島化した事。その後における多くの方々の支援活動。市行政、自衛隊、地区の方々、家族会、各地ボランティアの方々等々の復旧に向けての対応には頭が下がる思いあり、心からの謝意を申し上げます。

この予想だになかった未曾有の災害を通し、多くの体験をしました。このことから、私たちは何を、今後何をなすべきなのかは、今後の職員の行動が物語るのではないのでしょうか。二年経た現在も、その時の経験が皆さんの仕事や日常生活の面においてのレベルアップに寄与しているのではないかと強く感じています。当時の多くの方々のご支援を感謝し、且つそれを忘れることなく、どうぞ謙虚な姿勢を保ちつつ、この貴重な経験を活かし職場の更なる発展向上に努力邁進をお願い致します。

介護老人福祉施設 望洋荘

「ひなまつり」ももの節句

三月三日(日)塩屋岬ホールにて雛まつりを行いました。午後二時～三時まで永崎・四倉・勿来ユニット、三時～四時まで薄磯・豊間・シヨートユニットと二回に分けて行いました。

甘酒、ひなあられ、ケーキ、桜もちと、女性のお祭りなので、甘いものがたくさんテーブルに並べられており、入居者様は満面の笑みで頬ばっております。笑顔満開のひな祭り会となりました。



入居者様の暮らし風景

普段の入居者様はどのような生活をしているのか紹介させて頂きます。各ユニットでは毎月、入居者様の誕生会を行っております。カラオケをしたり、プレゼントを交換したり、お茶会をしながら誕生日のお祝いをしてあります。また、編み物やレゴブロックの組立をしたり、絵画等、様々な娯楽を日々楽しまれております。



「猫」作・渡辺礼次



「汽車」作・財津シツ



貼絵 作・佐藤ち多子



「ひな祭り」灯りを点けましょう雪洞に♪...

三月三日（日）の午後三時から「ひな祭り」を行いました。

ひな人形の前で記念撮影をした後は、各ユニットで桜餅や雛あられ、甘酒とともに歓談し、子供の頃にひな祭りのお祝いをした事や、子供や孫の初節句の思い出などに話を咲かせていました。

甘いものは別腹とよく言いますが、皆さん昼食後でも桜餅をペロリと召し上がり、もう一つ食べたいという声も聞かれました。

桜の葉の良い香りがする中、最後は皆で「うれしいひな祭り」を唄って桃の節句をお祝いし、春の訪れを感じる事ができました。



「鍋パーティー」みまや南ユニット

三月十六日（土）のお昼に「みまや南ユニット」で鍋パーティーを実施しました。ユニット内では、包丁で材料を切る軽快な音、真剣なおもむきで、たこ焼きを焼いている姿や手際よく鍋を作る鍋奉行の姿、一面に漂う美味しそうな香りに、皆さん出来上がりを今か今かと楽しみにされていました。

テーブルには、鮭・鱈・海老や沢山の野菜が入った海鮮鍋やたこ焼き、とんかつ、刺身、炊き込みご飯などの豪華な食事が並び、皆さん目を輝かせながら「おいしいし温まるね!」と言いつつ召し上がっていました。次は蟹鍋も良いねと、次回の計画を立てながら楽しいひと時を過ごされました。



「避難訓練 消火訓練」

三月二十六日（金）午後三時三〇分より、「避難訓練及び消火訓練を実施いたしました。」

今回の訓練は、現状で火災が発生した時に職員がどのように行動出来るかを検証しました。結果として、「火災発生現場の確認」「初期消火活動」「避難誘導」すべて動作は出来ておりましたが、反省すべき点もいくつかありました。終了後に、その問題点を指摘し、万が一の際には、適切に対応出来るように職員に指導いたしました。



「閏月」とは・・・

今年一月からNHK大河ドラマにおいて、幕末の会津を舞台とした「八重の桜」がスタートしました。NHK大河ドラマでは、幕末を題材にしたものが三十年で「新鮮組」「篤姫」「龍馬伝」と四作もあり、みんなが幕末時代に興味をもっている事がわかります。その中で戊辰戦争（一八六八年・慶応四年・明治元年）の戦場が福島県（白河口の戦い）に入った頃に、あまり馴染みがない閏四月という月があります。この閏四月とは何かと疑問をいだき調べてみました。旧暦（太陰暦）は月の満ち欠けにより、その周期を一ヶ月として、十二ヶ月を一年（三五四日）としていました。ところが現在の太陽暦に比べて十一日ほど短く、季節などにずれが生じることとなります。そのため三年に一回（実際は十九年に七回）ひと月多い十三ヶ月の年を作りました。その年を閏年と言い、増えた月を閏月と言います。その年の月は、四月↓閏四月↓五月の順になっています。どの月に閏月を入れるかは「二十四節気」の計算法に基づき決められます。しかし、これも明治五年に現在の太陽暦に改暦が行われ閏月はなくなりました。その背景には、当時の明治政府の財政が苦しく、翌年の閏年に官吏（公務員）の給料を十三回支給しなくてはならないため、急遽改暦することになったようです。いまでは考えられませんが、明治五年十一月九日に改暦が布告され、同年の十二月三日が明治六年一月一日になってしまったのですから、布告からたった二十三日での実施でした。しかも十二月は二日しかありませんでしたので、官吏の

十二月分給料も支払わなかったそうです。このことから明治政府の財政危機や強引さが良くわかります。江戸時代から明治に変わり、開国や廃藩置県、旧暦から太陽暦へと当時の変化は目まぐるしく、間違いなく日本全体が大混乱していたことでしょう。

【四月の行事予定】

望洋荘

四月五日（金）午後二時より
「お花見ドライブ」薄磯ユニット

四月二一日（日）午後一時より

「平成二十五年度望洋荘家族会総会」

四月二五日（木）正午より

「石炭化石館ほるる見学」豊間ユニット

【四月のお誕生会予定】

望洋荘

四月一日（月）薄磯ユニット

水野 琴子様（九八歳）誕生会

四月八日（月）薄磯ユニット

鈴木 シメ様（九八歳）誕生会

四月十四日（月）四倉ユニット

渡邊 ハツ子様（九一歳）誕生会

【四月の行事予定】

せんしょう苑

四月七日（日）午前九時三〇分より

「お花見会…小島公園」南ユニット

四月九日（火）午前九時三〇分より

「お花見会…小島公園」東ユニット

四月未定日 午後二時三〇分より

「お花見会…長町公園」西ユニット

※桜の開花状況により決定します。

【四月のお誕生会予定】

せんしょう苑

四月一日（月）みまや南ユニット

関野 誠美様（八九歳）誕生会

四月二八日（日）みまや東ユニット

大内 トヨ子様（九一歳）誕生会

編集後記

「せんしょう苑・望洋荘」便り

平成二十五年三月三十一日発行

発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

電話（0246）3866331

介護老人福祉施設

望洋荘

電話（0246）557373